出　張　報　告

報告日　令和7年1月8日

会　派　名	柏盛クラブ
報告者氏名	三宮直人
種　　別	□調査研究（□行政視察）　■研修会　□要請・陳情　□各種会議
用　　務	地方議会研修「＃Re地方議会スタディ・ミーティング2024」
日　　時	令和6年12月25日（水）　～　令和6年12月25日（水）
場　　所 （会　　場）	アイクロス湘南（辻堂）
調査項目等	
概　　要	講師の（社）地方公共団体政策支援機構 ■■氏と■■氏は早稲田大学マニュフェスト研究所の出身。経験をもとに独立し同法人を立ち上げ全国の自治体で地に着いた現実的な指導をしている。基本な問いかけは議会改革、政策サイクル、開かれた議会など取組んでいるが「それで街は良くなったの？」であり実践的な情報をいただいた。以下、概要。 ①間違いだらけの「議会改革」 ・改革に邁進し慢心しているが、街は良くなったのか。ランキングに踊らされていないか。 ・２元代表制は首長の政治的正当性を擁護する言葉。欧米では変わってきている。 ②間違いだらけの「開かれた議会」 ・議会広報誌は２，３か月前の情報。市民は求めているのか、市民は今と未来をみたいのではないか。 ・意見交換会で意見を聞くのはいいが、なぜそういう意見がでるのかを議論すべき。 ③間違いだらけの「政策サイクル」 ・９月会議は市民にとって良くなったか、２月会議は市民にとって良くなるだろうかが大論点。 ・９月会議と２月会議の間に５か月あり。この間に何をするかが政策サイクル。都城市と奥州市の政策策定ガイドラインを参考に。 ④データ活用 ・市民一人当たり人件費、物件費、移動可能費の分析 ・視察はムダ、どこかの議会で行っていて報告書も上がっている。 ・Resas地域経済分析システムの活用、データで語る
所　感　等	議会改革と称し取り組んできたことの完全否定でした。いい意味で目から鱗でした。基本的な問いかけである「それで街はよくなったのか」は議会活動で共通する論点、９月会議と２月会議を繋ぐサイクルの発想は言われてみれば必然だが認識として弱かったことに気づかされました。